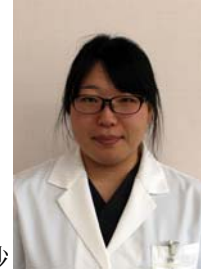


和歌山病院での実習を終えて



北野 有紗

7月3日から3週間、選択ポリクリとして和歌山病院の呼吸器内科で実習をさせていただきました。今回の実習では、昨年のポリクリとは違い、1人の入院患者さんを担当させていただき、毎朝自分で身体診察を行い、検査結果や画像を見て評価し、カルテを記載しました。また、自分でX線画像の所見を考えて、南方院長と胸部画像の読み方を考える時間をつくっていただきました。初めはX線画像に苦手意識があり、自分が読んだ所見に自信がなかったのですが、他の方の意見を聞いたり、先生からも読み方を教えていただいたりすることで考えることが楽しくなりました。毎回違う所見がある画像を探してもっと読めるようになりたいと思えるようになりました。

呼吸機能検査も実際にさせていただき、想像よりも簡単ではなかったり、少し苦しい感じがしたりと体験してみなければわからないことも多く、実臨床での患者さんの気持ちを考える機会となりました。このほかにも、胸腔ドレーンの挿入の見学や気管支鏡検査の見学をしたり、検査部で喀痰塗抹検査のGram染色を実際に行ったり、研修医の先生の指導をいただきながら学生同士でのルート確保の練習をさせていただいたりしました。

選択ポリクリも最後のタームであり、学生としての病院実習は最後になりますが、和歌山病院で実習をさせていただき、これから臨床に携わる気持ちが高まりました。教えていただいたことを忘れずに今後医師となってからも生かしていきたいと思います。

最後になりましたが、南方院長、駿田先生、担当させていただいた患者さんの主治医である川邊先生をはじめ、多くのスタッフの方々にはお忙しい中ご指導いただき、大変充実した実習となりましたこととお礼申し上げます。3週間ありがとうございました。